



「ありがとう」が聞きたくて。

大浜てらまちの歴史・魅力を伝えるボランティアガイド

“てらまち案内人”
あないびと

10年以上ガイドを続けている板坂さんと藤浦さんに、お話を伺いました。

碧 南市内に古き良き景観を残す「大浜てらまち」地区。このてらまち地区の歴史を知り、より楽しむために案内をしてくれるボランティアグループ「大浜てらまち案内人の会」があることを知っていますか。

案内人の会は、現在40〜70歳代の14人が登録していて、市内・市外問わず多くの人々に大浜てらまちの魅力を伝えていきます。

10年以上もガイドを続けている同会代表の板坂寛さん(75)と副代表の藤浦里志さん(62)。「市内の人がまだまだ知らないことを伝えていきたい」と話すお二人に、これまで案内してきたエピソードや、これからの大浜てらまち地区の展望などを聞きました。

碧南生まれの人でも
「知らない」ことを伝えたい

問 商工課商工観光係 ☎95-9894



なぜ案内人になん?

板坂さんは、歴史が好きで、生まれ育った新川地区の歴史を調べた際に、ルーツは大浜地区にあることを知りました。そこから大浜地区の歴史を調べることになった。15年ほど前に案内人の会に出会いました。案内人の会に入れば、大浜地区をより深く知れると思いい入会しました。

藤浦さんは、元々市外出身ですが、10年以上前の大浜でまちウォーキングで、小学生がてらまちに関することを発表しているところを見たときに、その発表内容にとっても感動しました。それで、自分も感動を与える側になりたいと思い、案内人の会に入りました。大浜地区出身ではないお二人が、全く違う経緯でありながら、同じ案内人として活動していることに驚きました。



板坂 寛さん

大浜てらまち案内人の会代表
趣味は歴史博物館巡り、古墳探し。
「歴史に絶対はない」がモットー。



藤浦 里志さん

大浜てらまち案内人の会副代表
常に笑顔の案内人。名古屋市科学館でもボランティアガイドをしている。

苦勞すること...

長年ガイドをやっている中で一番の苦勞は、歴史に詳しい人への案内。ガイド中にダメ出しをされたり、答えることが難しい専門的なことを聞かれることもあります。説明する時は今でも間違いない説明できているか不安になることもあるそうです。

一番は「ありがとう」

お二人に、これまでガイドをしてきた中で、一番うれしかったことは何ですかと聞いてみたら、お二人とも同じ回答でした。

案内が終わる、お客様から「ありがとう」「知らなかった」と言われることが一番うれしいそうです。特に、碧南で生まれ育った人にそう言われるときが、碧南の魅力を再認識してもらえていると実感できる瞬間です。

今、てらまち地区が「熱い」

2023年の大河ドラマは、徳川家康の生涯を描いた「どうする家康」が放送予定です。大浜てらまち地区には、徳川家康とゆかりのある場所もあり、注目が高まっています。

また、旧大濱町は古くから海運の町として栄え、多くの寺社が建てられました。特に大浜てらまち地区は、南北1.2kmほどの狭い地区に、宗派が異なる10のお寺があり、昔ながらの建物が密集しています。

昔懐かしい風景の中を歩くと、日常とは違う気分になります。特にガイドツアーでは、徒歩でしか行けない細い路地を散策するので、新しい発見があるかもしれませんよ。

お二人の オススメ 映えスポット



板坂さんのオススメはてらまちならではの「細い路地」。自分だけのお気に入りの路地を見つけてください！

あなたも案内人になりませんか？

大浜てらまち案内人の会のメンバーは、純粹に大浜の魅力を、訪れる人に伝えることを目的に、皆さんの笑顔を喜びとして活動しています。

歴史が好きな人、街並みが好きな人、たくさんさんの笑顔に出会いたい人、あなたも大浜てらまち案内人になってみませんか。

●大浜てらまち案内人の活動

- ・大浜てらまちを訪れる人を案内する。ガイドツアー（無料）は常時受け付けています。
- ・毎月1〜2回勉強会やまち歩きなどをして、大浜てらまちへの理解を深める。
- ・年に1〜2回周辺市町村へ視察に行く。
- ・大浜てらまちウォーキングなどのイベントに参加する。



藤浦さんオススメは海徳寺。山門には市内唯一の金剛力士像、また、本堂にある大浜大仏は迫力満点！※大浜大仏は撮影不可